

東日本大震災への通信教育部の特別対応 【74号以降の追加案内】

3月11日以降住んでいる世界が一変してしまった方も多いと思います。残念ながら、通信教育部学生の方で1名の死亡、5名の行方不明者、25名の家屋流出・全壊者、32名の原発による避難者などがおられます。沿岸部在住でまだご連絡が取れていない方も40名ほどおります（4.20現在）。

今回の震災にあたって、『With』74号 p. 4～10記載以外の特別対応事項は下記のとおりです。なお、合理的な理由があると認められる場合は、下記以外にも配慮をいたしますので、お申し出ください。

●家屋全壊・半壊・震災を理由とする失業の方への学費減免

現在、上記に該当する方には、23年度学費（授業料＋施設設備資金）の半額を免除させていただく（10月生は22年度学費半額返金 23年度休学者は24年度に学費の半額免除）方向で検討しております。決定次第5月20日ごろまでに、被災状況をご報告いただいたなかで該当すると思われる方に、書面で手続きなどをご連絡いたします。

●原発関連避難者・JR不通区間在住者への科目修了試験の在宅試験対応

①3/11時点で福島第1原発事故による避難地域在住であり（広野・楢葉・富岡・大熊・双葉・浪江町、南相馬・いわき市などの在住者）避難した方（福島・郡山などへの避難者も含む）、②JR不通区間の沿岸部に在住で（松島海岸～石巻～気仙沼～宮古や亶理～いわきなど）で仙台・盛岡・福島・郡山会場への来場が困難な方は、5・6・7月の科目修了試験受験にあたって、「在宅レポート試験」を行います。科目修了試験申込締切日までにレポートを提出した上で、申込ハガキ会場欄に「在宅レポート試

験」と記入し、本冊子巻末の「配慮申請用紙」（または『学習の手引き』巻末 様式13）に理由を記入し、郵便でお申込みください。なお、試験が郵送で受取ができる居住地にお住まいの方に限ります。

また、本学の都合により会場試験が実施できなかった都道府県の在住者は、「在宅レポート試験」に切り替えて実施します。

本措置は文部科学省と私立大学通信教育協会の相談にもとづくもので、限られた範囲の学生のみを対象にするものです。会場試験受験が可能とされる場合は在宅試験が認められない場合もあります。現時点では、9月の試験以降はどなたも会場で試験を受験していただく予定です。

●公共交通機関不通区間の本学来校者の駐車許可について

【4/30～5/8、5/21・22・29、6/4・5・11・12・18・19・25・26、7/2・3・9・10のみ】仙台会場のスクーリング・科目修了試験日（5/14・15・28や平日を除く）に鉄道・バスなど公共交通機関が寸断されている地域（石巻・気仙沼・南相馬など沿岸部を想定）にお住まいの方は巻末の「配慮希望申請用紙」（または『学習の手引き』様式13）を提出すれば大学キャンパス内への駐車が認められる場合があります（仙台市・隣接市町村で浸水地域以外の方はすべて不許可となります）。震災前の通学ルートと、不通区間などの状況、車のナンバーを記入の上、スクーリング10日前には「配慮希望申請用紙」を提出してください。駐車スペースは限られていますので、許可制で全員の方への割り当ては難しくなります（スクーリング5日前までに駐車可能かどうかと駐車指定場所をお知らせします）。

●スクーリングの遅刻への対応

公共交通機関が完全復旧するまで（飛行機利用者を含む）、仙台会場におけるスクーリングの遅刻が認められる場合があります。ただし、6～8

コマ科目の場合は1コマ以内、12コマ科目の場合は2コマ以内を原則とし、理由書（本冊子巻末）を提出していただきます。遅刻者は、電話などで事前連絡の上、来校時まず通信教育部事務室へご来室ください。なお、遅刻による補講や試験への配慮はできません。また、演習・実習指導科目の遅刻は極力お避けください。

また、仙台会場以外への遅刻は認められません。

●スクーリング受講料納入期限の特例

スクーリングの出欠があやふやな場合も、期限までにスクーリングを申込んでいただいたうえで、スクーリング直前までに受講料の納入をしていただければ結構です。ただし、期限後に納入した方は、必ずコンビニエンスストアでの領収書を受講当日お持ちください。

●図書館について

東北福祉大学図書館は4月26日以降学生用閲覧図書を中心に一部開館いたします。

●仙台の交通・宿泊について（4.20現在）

市バス（北山・子平町循環）は通常運行中、仙山線は運行再開していません。東北新幹線は、福島ー仙台が4月25日に復旧予定、仙台ーノ関が4月30日頃に復旧予定です。必要に応じてJR東日本、市バスの場合は仙台市交通局（TEL. 022-224-5111）等でご確認をお願いいたします。

仙台市内の宿泊施設もだいぶ復旧してきました。『試験・スクーリング情報ブック2011』5部などを参照しホテルへ直接お問合せいただくか、または「じゃらん」「楽天トラベル」などで検索してみてください。

芹沢銈介美術工芸館から

この度の東日本大震災により、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

芹沢銈介美術工芸館は、今回の震災によって建物の一部が損壊し、現在開館を見合わせています。施設内の復旧と安全確認が出来次第再開いたします。

なお、4月から予定しておりました特別展「芹沢銈介蒐集 土のもの」展は、やむなく中止という判断をいたしました。再開の際は、当館ホームページや『With』でお知らせいたします。

当館、ミュージアムショップ等につきましては電話（TEL：022-717-3318）でお問い合わせ下さい。

通信教育部から

次号の『With』76号に掲載する皆様からのご投稿の原稿締切は5月13日で、6月1日発行予定です。ご投稿をお待ち申し上げます。